

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2023年11月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで61年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2024年5月下旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

**放送批評懇談会**

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



&lt;お問い合わせ先&gt;

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島  
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F  
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510  
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2023 年 11 月度ギャラクシー賞月間賞

**有吉弘行の脱法TV**

11 月 13 日放送 24 : 25 ~ 25 : 25 フジテレビジョン

「コンプライアンス」の観点から地上波テレビで放送できないとされているもの（タトゥー、乳首、著作権、大人のビデオ）がどこまで映せるか、という原田和実らしい着眼点が光る。笑いのなかにも「コンプライアンス」の曖昧な面が垣間見えて、現在のテレビバラエティのあり方に対するひとつのメッセージにもなっている。

**ドキュメント 20min. 「ニッポンおもひで探訪～北信濃 神々が集う里で～」**

11 月 19 日放送 24 : 00 ~ 24 : 20 日本放送協会

時代の流れのなかですでに失くなってしまった小さな集落を取り上げ、元の住民たちによって 1 日限りの集落復活を見せてもらう企画。そのとき限りの復活であったことは番組後半で視聴者に明かされるが、制作者と元住民たちの協力によって作られたファンタジーがジブリ映画のなかの異世界を思わせて、じんわりと感動的だった。

**NNNドキュメント' 23 「いろめがね～部落と差別～」**

11 月 19 日放送 24 : 55 ~ 25 : 50 山口放送

憲法 14 条に「すべての国民は法の下に平等……」と唱えても、いわゆる部落差別はなくなる。ネット上での差別拡散が大きな問題になっている。番組は部落差別の実情を正面から捉えて、強い説得力を感じた。最後に差別されない権利を認めた東京高裁の判決があったが、番組主人公の活動に差別のない未来に向かう強い姿勢を感じた。

**それって!? 実際どうなの課 ゴールデン2時間SP**

11 月 28 日放送 19 : 00 ~ 20 : 54 中京テレビ放送

これまでいろいろな分野の高難度の技を瞬時に会得して挑戦ものバラエティの常識を覆してきた「ワールド・スピード森川」こと森川葵が、スポーツスタッキングで世界大会に出場、メダルを獲得する快挙を成し遂げた。もうひとつの視力回復企画に出演していたチャンカワイもそうだが、とにかく真面目に取り組む姿が感動的である。

★詳細は月刊誌「GALAC」2024 年 2 月号に掲載します